記載例①　トイレ改修

様式第１号の１（第５条関係）

|  |
| --- |
| 令和7年　５　月　**19**日菊池市長　江頭　実　様　　　　　　　　　　　　　（申請者）　住　　所：菊池市隈府888番地名　　称：　　　中央　　　　　区代表者名（区長）：　　　菊池　太郎　**（※印不要）**　　　　 |
| 補　助　金　等　交　付　申　請　書 |
| 補助事業の名称 | 菊池市自治公民館整備事業 |
| 事業実施地域 | 菊池市　　　　　　　中央　　　　　　　　　　区公民館 |
| 着手・完了予定年月日 | 着　手　：　令和7年　５　月　25　日完　了　：　令和7年　６　月　20　日 |
| 事業の内容 | 足腰に負担がかかりにくく楽な姿勢で使用できるため、和式のトイレを洋式に改修する。 |
| 事業の効果 | 公民館がさらに利用しやすくなり、公民館活動の活性化につながる。 |
| 補助申請額 | 金　　　２４０，０００円 |
| 補助事業に要する経費 | 予算総額（支出） | 財源内訳（円） |
| 市補助金 | 自己資金 | その他 |
| 480,600円 | 240,000円 | 240,600円 | 円 |
|  | 財源割合（％） | 100.0％ | 49.9％ | 50.1％ | ％ |

　添付書類　　１　事業計画書

**交付対象経費の2分の1以内　　（200万円限度）※千円未満切捨て**

　　　　　　　２　事業収支予算書（様式第１号の２）

　　　　　　　３　その他市長が必要と認める書類

（担当課記入欄）

**記載の必要なし**

|  |  |
| --- | --- |
| 補助金等の名称 | 菊池市自治公民館整備補助金 |
| 補助金等の根拠要綱等 | 菊池市自治公民館整備補助金交付要綱 |
| 市補助金 | 財源内訳 |
| 国庫支出金 | 県支出金 | その他 | 一般財源 |
| 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |

記載例②　備品（テレビ）の購入

様式第１号の１（第５条関係）

|  |
| --- |
| 令和7年　５　月　19　日菊池市長　江頭　実　様　　　　　　　　　　　　　（申請者）　住　　所：菊池市隈府888番地名　　称：　　中央　　　区代表者名（区長）：　　　菊池　太郎　**（※印不要）** |
| 補　助　金　等　交　付　申　請　書 |
| 補助事業の名称 | 菊池市自治公民館整備事業 |
| 事業実施地域 | 菊池市　　　　　　　中央　　　　　　　　　　区公民館 |
| 着手・完了予定年月日 | 着　手　：　令和7年　５　月　25　日完　了　：　令和7年　６　月　20　日 |
| 事業の内容 | 経年劣化により画面が黒くなるなど、不具合が生じているテレビを買替える。 |
| 事業の効果 | 公民館での学習や交流の機会が多くなり、公民館活動がさらに充実する。 |
| 補助申請額 | 金　　　１２０，０００円 |
| 補助事業に要する経費 | 予算総額（支出） | 財源内訳（円） |
| 市補助金 | 自己資金 | その他 |
| 241,500円 | 120,000円 | 121,500円 | 円 |
|  | 財源割合（％） | 100.0％ | 49.6％ | 50.4％ | ％ |

　添付書類　　１　事業計画書

　　　　　　　２　事業収支予算書（様式第１号の２）

**交付対象経費の2分の1以内　　（50万円限度）※千円未満切捨て**

　　　　　　　３　その他市長が必要と認める書類

（担当課記入欄）

**記載の必要なし**

|  |  |
| --- | --- |
| 補助金等の名称 | 菊池市自治公民館整備補助金 |
| 補助金等の根拠要綱等 | 菊池市自治公民館整備補助金交付要綱 |
| 市補助金 | 財源内訳 |
| 国庫支出金 | 県支出金 | その他 | 一般財源 |
| 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |

様式第1号の2（第5条関係）

**記載例**

令和7年度事業収支予算書

事 業 名：菊池市自治公民館整備事業

名　　称：　　　　中央　　　　区

代表者名（区長）：菊池　太郎

|  |
| --- |
| 【収入】 （単位：円） |
| 区分 | 前年度予算額 | 本年度予算額 | 説明 |
| 市補助金 | 0 | 120,000 | 　 |
| 区拠出金 | 0 | 121,500 |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 計 | 0 | 241,500 |  |
| 【支出】 （単位：円） |
| 区分 | 前年度予算額 | 本年度予算額 | うち市補助金充当額 | 説明 |
| テレビ（アンテナ取付け含む） | 0 | 241,500 | 120,000 |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 計 | 0 | 241,500 | 120,000 |  |

※　収入の市補助金額と支出の市補助金充当額の合計は一致します。

※　市補助金の充当にあたっては、補助金等交付基準を遵守して下さい。

同　　意　　書

**記載例**

令和7年　５月　20日

菊池市長　　江頭　実　　様

中央

　　　　　　　　　　　　　　区公民館

館長　　菊池　次郎　**（※印不要）**

**中央**

　　　　　　区公民館において、下記事業に基づき自治公民館整備補助金の交付を申請することにつきまして、公民館長として同意します。

記

事　業　内　容

※　該当する事業の番号に○をつけること

　　１．自治公民館の新築

　　２．自治公民館の全面改築

３．自治公民館の改造

４．備品購入(音響施設)

**テレビ購入**

５．備品購入(その他)　購入品目：

**事業毎に提出**

様式第３号（第８条関係）

**記載例**

|  |
| --- |
| **令和7**年　６月　10日　菊池市長　江頭　実　様　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（補助事業者）　住　　所：菊池市隈府888番地名　　称：　　　中央　　　　区代表者名（区長）：　菊池　太郎　**（※印不要）**　　　補助事業（取下げ・変更・中止）申請書　　令和7年　５月　23日付け菊池市指令第100号で補助金の交付決定のあった事業について、下記のとおり（取下げ・変更・中止）したいので、承認されたく菊池市補助金等交付規則第８条の規定に基づき関係書類を添えて申請します。記 |
| 補助事業の名称 | 菊池市自治公民館整備事業 |
| 変更後の着手・完了年月日 | 着　手　：令和7年　５　月　25　日完　了　：令和7年　６　月　20　日 |
| 変更後の事業内容 | テレビ台が合わなかったので型を52型から46型に変更した |
| 変更前補助申請額 | 120,000円 | 増減 | △10,000円 |
| 変更後補助申請額 | 110,000円 |
| 事業費 | 予算総額（支出） | 財源内訳（円） |
| 市補助金 | 自己資金 | その他 |
|  | 当　初 | 240,000円 | 120,000円 | 120,000円 | 円 |
|  | 変更後 | 220,000円 | 110,000円 | 110,000円 | 円 |
|  | 変更後の財源割合 | 100.0％ | 50％ | 50％ | ％ |

添付書類　　１　変更等理由書

　　　　　　　２　変更後の事業計画書

（担当課記入欄）

**記入の必要なし**

|  |  |
| --- | --- |
| 補助金等の名称 | 菊池市自治公民館整備補助金 |
| 補助金等の根拠要綱等 | 菊池市自治公民館整備補助金交付要綱 |
| 市補助金 | 財源内訳 |
| 国庫支出金 | 県支出金 | その他 | 一般財源 |
| 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |

様式第５号の１（第１０条関係）

**記載例**

|  |
| --- |
| 令和7年　６月　30日　菊池市長　江頭　実　様　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（補助事業者）　住　　所：菊池市隈府888番地名　　称：　　　中央　　　　　　区代表者名（区長）：　　　菊池　太郎　**（※印不要）** |
| 補 助 事 業 等 実 績 報 告 書 |
| 補助事業の名称 | 菊池市自治公民館整備事業 |
| 補助事業完了年月日 | 完了日　：令和7年　６月　27日 |
| 事業の効果 | 公民館での学習や交流の機会が多くなり、公民館活動がさらに充実した。 |
| 補助交付決定額 | 金　　　120,000円 |
| 補助金交付決定年月日・番号 | 決定日：令和7年　６　月　10　日 |
| 番　号：　菊池市指令第100号 |
| 補助事業に要する経費 | 決算額（決算見込額） | 財源内訳（円） |
| 市補助金 | 自己資金 | その他 |
| 241,500円 | 120,000円 | 121,500円 | 円 |
|  | 財源割合（％） | 100.0％ | 49.6％ | 50.4％ | ％ |
|  | 収入支出差引（円） | 　　０円（次年度繰越額） |
|  | 差引／市補助金（％） | 　　　　　　　　　　　　　　　％ |

　添付書類　　１　補助事業に係る収支決算（決算見込）書　（様式第５号の２）

　　　　　　　２　その他必要と認める書類（領収書の写し、写真等）

（担当課記入欄）

**記入の必要なし**

|  |  |
| --- | --- |
| 補助金等の名称 | 菊池市自治公民館整備補助金 |
| 補助金等の根拠要綱等 | 菊池市自治公民館整備補助金交付要綱 |
| 市補助金 | 財源内訳 |
| 国庫支出金 | 県支出金 | その他 | 一般財源 |
|  | 円 | 円 | 円 | 円 |

様式第5号の2（第１０条関係）

**記載例**

令和7年度事業決算書

事 業 名：菊池市自治公民館整備事業

名　　称：　　　　中央　　　区

代表者名（区長）：菊池　太郎

|  |
| --- |
| 【収入】 （単位：円） |
| 区分 | 予算額 | 決算額 | 説明 |
| 市補助金 | 120,000 | 120,000　 | 　 |
| 区拠出金 | 121,500　 | 121,500 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 |
| 計 | 241,500 | 241,500　 | 　 |
| 【支出】 （単位：円） |
| 区分 | 予算額 | 決算額 | うち市補助金充当額 | 説明 |
| テレビ（アンテナ取付け含む） | 241,500　 | 241,500　 | 120,000　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 241,500 | 241,500　 | 120,000　 | 　 |
| 収入支出差引 | ０円（次年度繰越金） |

※　収入の市補助金額と支出の市補助金充当額の合計は一致します。

※　市補助金の充当にあたっては、補助金等交付基準を遵守して下さい。

令和7年　６月30日

記載例

　菊池市長　　江頭　実　　　様

施設設置代表者

住　所　菊池市隈府888番地

区　長　氏　名　菊池　太郎（※印なし）

 工　事　　工　届

　下記のとおり工いたしましたので届け出します。

**事業毎に提出**

記

1　工事名　　地上デジタルテレビ購入　　　トイレ改修

2　工事場所 菊池市

3　着　　工 令和7年　　５月　　25日

4　竣　　工 令和7年　　６月　　27日

様式第７号（第12条、第13条関係）

**記載例**

|  |
| --- |
| 令和7年　７月　11日　菊池市長　　　　　　　　様（補助事業者）　住　　所：菊池市隈府888番地名　　称：　　中央　　　　区代表者名：　　菊池　太郎（※印なし）　　　　　　　　　　補 助 金 等 （ 交 付 ・ 概 算 交 付 ） 請 求 書令和7年　７月　５日付け菊教生第　110　号で補助金の交付（決定・確定）のあった事業について、下記のとおり交付くださるよう請求します。　　　　記請求額　：　　金　　120,000　円 |
| 補助事業の名称 | 菊池市自治公民館整備事業 |
| 補助金 | 交付決定額 | 金　　　120,000　円 |
| 交付確定額 | 金　　　120,000　円 |
| 既受領額 | 金　　　　　　0　円 |
| 今回請求額 | 金　　　120,000　円 |
| 残額 | 金　　　　　　0　円 |
| 備考 | ※補助金入金先　銀行等名称：　●●銀行　　　　　　　　　　　　　　支店等名称：　○○支店　　　　　　　　　　　　　　口座種類　：　普通　　　　　　　　　　　　　　　　口座番号　：　１２３４５６７　　　　　　　　　　　口座名義人：　菊池　太郎　　　　　　　　　　　　　フリガナ　：　キクチ　タロウ　　　　　　　　　　 |

|  |  |
| --- | --- |
| 　　書類の提出方法 | 紙・電子メール |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 書類発行責任者 | 菊池　太郎 | 電話番号 | 090-○○○○-△△△△ |
| 　　　担　当　者 |  | 電話番号 |  |

※書類発行責任者と担当者は、同一人物でも可能です。

※書面の真正性（請求内容が正しいかどうか）を担保するため電話等で確認を行う場合

　があります。